

講師 **カレル・フィアラ**(福井県文書館副館長、福井県立大学名誉教授)

平成26年 **5月17日** | 土 | 13:30~15:00

1 「橋姫」と「椎本」 *終了しました。

平成26年 **7月19日** | 土 | 13:30~15:00

2 「総角」と「早蕨」 *終了しました。

平成26年 **10月4日** | 土 | 13:30~15:00

3 「宿木」と「東屋」

八の宮の隠し子浮舟が初めて登場し、三人娘のモチーフが複雑に展開する。中の宮は匂に引き取られ京に移ったが、匂の新しい縁組に驚き宇治に帰ろうとする。薫の告白を拒否し、宮とそっくりの妹浮舟のことを告げる。薫は浮舟の隠れ家を知り、仲介を求める。

平成26年 **11月22日** | 土 | 13:30~15:00

4 「浮舟」と「蜻蛉」(仮)

平成27年 **1月24日** | 土 | 13:30~15:00

5 「手習」と「夢浮橋」(仮)

平成27年 **3月7日** | 土 | 13:30~15:00

6 番外編 チェコと中欧における日本文学(仮)

会場は、すべて福井県文書館研修室 (受講無料)

*各定員 40 名。電話、Fax、メール等で事前に申し込んでください。

福井ライフ・アカデミー連携講座です。

フィアラ先生の

世界をつなぐ
ゼミナール

『源氏物語』

「宇治十帖」
を読む

『Příběh prince Gendžiho 4』より

